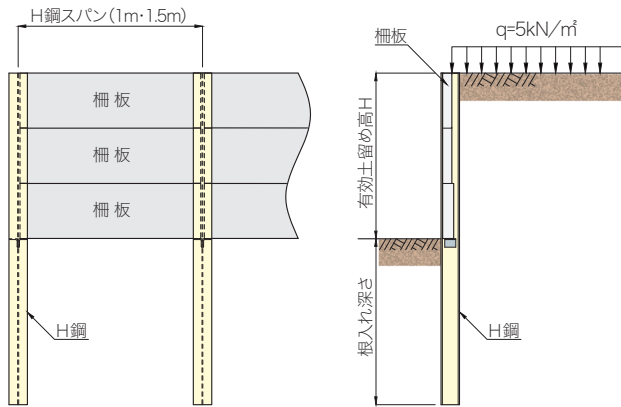


簡易土留め(柵板・H鋼)

上載荷重
 等分布荷重 $q=5\text{kN/m}^2$

CAD data DWG SFC

施工例(参考)



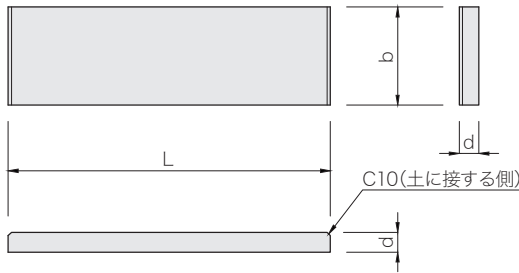
柵板(1480×298×80)



町道8-1056号線(城里町)

柵板とH鋼を使用して土留め壁高さH=300~900mm程度の簡易の土留めまたは仮設の土留めとする場合に使用します。L型擁壁等と比較しても施工が簡便で経済的に土留めを構築できます。

- 注(1) 設計概要は背面土がレベルで、上載荷重は群衆荷重5kN/m²程度を考慮して設計をしています。土留め高さや現場の土質等の設計条件によりH鋼のサイズや根入れ深さが異なります。
- (2) 柵板の小口角にC10の面取りがある側が土側(背面)ですので、反対に施工されないようご注意ください。
- (3) H鋼の取り扱いもしております。詳しくは担当営業にお問い合わせください。

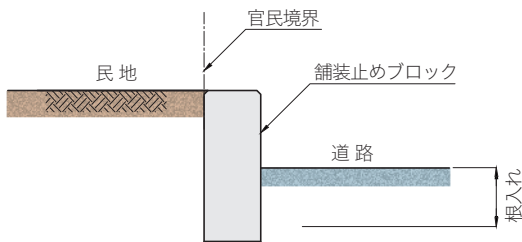


呼び名	寸法(mm)			参考質量(kg)	抵抗モーメント Mra (kN·m)
	L	b	d		
柵板	50	980	298	50	0.3454
		1480		52	
	60	980	1480	60	0.6600
		1480		62	
	80	980	1480	80	1.0140
		1480		82	

舗装止めブロック

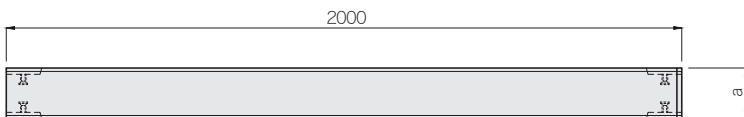
CAD data DWG SFC

施工例(参考)



民地と道路の境界(官民境界)で高低差がある場合などに使用する舗装止め専用のブロックです。高さはH=300、400、500と3種類ありますので、現場に合わせて連続施工が可能です。片基礎付歩車道境界ブロックA(P.193)も同じように使用できます。

※最小根入れについては、おおむね製品高さの15/100以上としてください。



舗装止めブロック(300×150)



(古河市)



呼び名	寸法(mm)				参考質量(kg)
	a	h	h1	h2	
300×150	150	300	125	175	210
400×150		400	225		282
500×150		500	325		352